資料２

北上市立幼稚園・保育所再編方針

１　趣　旨

当市においては、少子化の進行に伴い、市立幼稚園及び保育所においても園児数が減少し、教育上必要な集団規模の確保が困難となる施設が見られる状況となっている。また、多くの施設において老朽化が進行しており、今後、大規模改修や建替え等の施設更新が必要となることが見込まれている。

このような状況を踏まえ、将来にわたり教育・保育の質を維持していくため、市立幼稚園及び保育所の再編に関する基本的な方針を定めるものである。

２　市立幼稚園・保育所の役割

当市では「民間でできることは民間で」という考え方のもと、民間立の教育・保育施設の活用を推進している。民間立施設の柔軟な運営や多様な保育ニーズへの対応は、地域の子育て支援において重要な役割を果たしているものと捉えている。

一方で、市立施設には以下のような役割があると認識している。

・支援を必要とする児童及び家庭への対応（発達支援、家庭環境への配慮、医療的ケア児への対応など）
・市全体の保育体制を支えるための調整機能（定員調整や緊急対応など）

３　再編の基本的な考え方

当市では、次に掲げる考え方を基本として再編を進めるものとする。

(1)　集団規模の確保

園児同士の関わりを通じた学びや育ちを確保するため、一定の集団規模（※）の維持を基本とする。

※３～５歳児の各学年において４人以上の規模が望ましいものと考える。

(2)　地域の状況に応じた施設配置

民間立施設が一定程度確保されている地域においては、市立施設の統合等により適切な需給バランスを維持する。また、一定の教育・保育ニーズがあるものの、民間立施設が少ない地域においては、地域の教育・保育機能を支えるため、市立施設の維持を図る。

(3)　認定こども園化による幼稚園機能の確保

共働き世帯の増加等により、幼稚園の園児数が減少(※)している状況を踏まえ、幼稚園機能については認定こども園が担うことを基本とする。

※市立幼稚園の園児数　令和元年５月：207人、令和８年５月：63人

(4)　市立施設の役割の維持

前段で示した市立施設の役割は、地域の子育て支援の基盤として重要なものであり、その機能を維持するため、再編後においても一定数の市立施設を確保するものとする。

4　再編の方向性

上記の考え方を踏まえ、地域バランスを考慮した配置を基本とし、施設ごとの再編の方向性は下表のとおりとする。

<table>
<tr><th>現　状</th><th>建築年</th><th>再編の視点</th><th>再編案</th></tr>
<tr><td>大通り
保育園</td><td>昭和
49年</td><td rowspan="2">周辺地域において民間立施設が充足している状況を踏まえ、２園の施設機能を集約するもの。</td><td rowspan="2">黒沢尻こども園
※黒沢尻幼稚園を改修して設置</td></tr>
<tr><td>黒沢尻
幼稚園</td><td>令和
３年</td></tr>
<tr><td>江釣子
保育園</td><td>昭和
55年</td><td rowspan="3">江釣子地区は民間立施設が少なく、特に幼稚園機能を担う施設が限られていることから、３園を統合した上で市立施設を継続して配置するもの。
※江釣子幼稚園は、集団規模の維持が困難であるため、鳩岡崎保育園を認定こども園化して幼稚園機能を継承し、令和９年３月末をもって閉園する。</td><td rowspan="3">江釣子こども園
※江釣子地区内に新設</td></tr>
<tr><td>鳩岡崎
保育園</td><td>昭和
63年</td></tr>
<tr><td>江釣子
幼稚園</td><td>昭和
45年</td></tr>
<tr><td>二子
保育園</td><td>平成
７年</td><td rowspan="2">周辺地域に民間立施設が少ないことから、市立施設を継続して配置するもの。</td><td>二子保育園</td></tr>
<tr><td>南
保育園</td><td>昭和
61年</td><td>南保育園</td></tr>
<tr><td>口内
保育園</td><td>昭和
45年</td><td rowspan="2">集団規模の維持が困難であることに加え、施設の老朽化が進んでいることから、早急に検討を行う。</td><td rowspan="2">今後の在り方を検討</td></tr>
<tr><td>藤根
幼稚園</td><td>昭和
45年</td></tr>
</table>

5　方針の推進

本方針に基づく具体的な取組については、今後３～５年程度を目途として、園児数の推移、施設の状況等を踏まえながら、保護者及び地域等の関係機関との協議を経て段階的に進めるものとする。

参考資料１　市内全体における０～５歳人口の推移（各年３月31日）

単位：人

令和 元年	令和 ２年	令和 ３年	令和 ４年	令和 ５年	令和 ６年	令和 ７年	令和 ８年	令和 ９年	令和 10年	令和 11年
4,313	4,177	3,964	3,824	3,612	3,390	3,233	3,034	2,933	2,837	2,776

※令和元年～８年は実績値、令和９年以降は北上市こども計画に記載の推計値

参考資料２　市立幼稚園及び保育所の園児数（令和８年９月時点）

単位：人

	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	合計
大通り保育園	0	12	13	20	23	25	93
二子保育園	2	11	14	21	21	22	91
口内保育園	0	1	3	1	0	0	5
南保育園	0	9	8	14	13	9	53
江釣子保育園	0	8	13	16	20	17	74
鳩岡崎保育園	1	5	7	10	12	12	47
黒沢尻幼稚園	－	－	－	7	15	20	42
江釣子幼稚園	－	－	－	0	2	5	7
藤根幼稚園	－	－	－	2	6	4	12

+